

平成24年度水道事業決算の概要

水道事業の経理は、水道水を供給するための経費と財源を表す「収益的収支」と、水道施設の建設・改良や企業債の償還に係る経費と財源を表す「資本的収支」の2つに分けて行っています。

「収益的収支」では、前年度と比較して人口が減少したことや、節水器具の普及により給水量が減少したことに伴い水道料金が6,892万円減少しました。この結果、収入は22億5,984万円、支出が23億453万円となり、収入が支出に対して不足する額（純損失）は4,469万円となりました。

「資本的収支」では、平成20年度から進めていました「山中浄水場の改築と新規送水管の建設事業」をはじめとした建設改良費が前年度比較で12億3,815万円増加し、支出全体では36億3,770万円となりました。

1. 収益的収支（税抜）

（1）収益的収入（税抜）

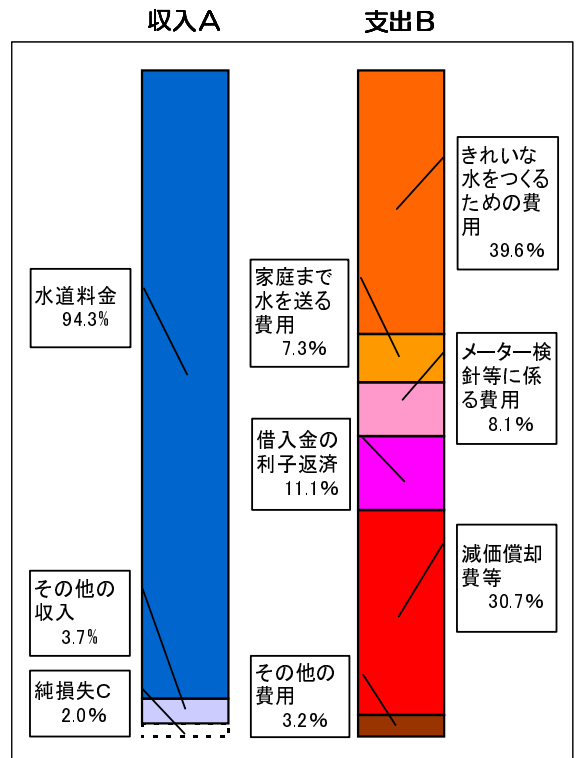
区分	決算額
水道料金	21億7,395万円
その他の収入【他会計負担金等】	8,589万円
合計	22億5,984万円 A

（2）収益的支出（税抜）

区分	決算額
きれいな水をつくるための費用 【原水及び浄水費】	9億1,230万円
うち県水受水費【受水費】	6億1,946万円
家庭まで水を送る費用 【配水及び給水費】	1億6,743万円
メーター検針や料金収納等営業等に係る費用【業務費、総係費】	1億8,580万円
借入金の利息返済 【支払利息及び企業債取扱諸費】	2億5,653万円
減価償却費等 【減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却等】	7億 782万円
その他の費用	7,465万円
合計	23億 453万円 B

収益的収支差額（損失）※ $\Delta 4,469$ 万円 C (A-B)

※収益的収支差額（損失）は、利益積立金（過去の利益の積み立て）の取り崩しで補てんしました。



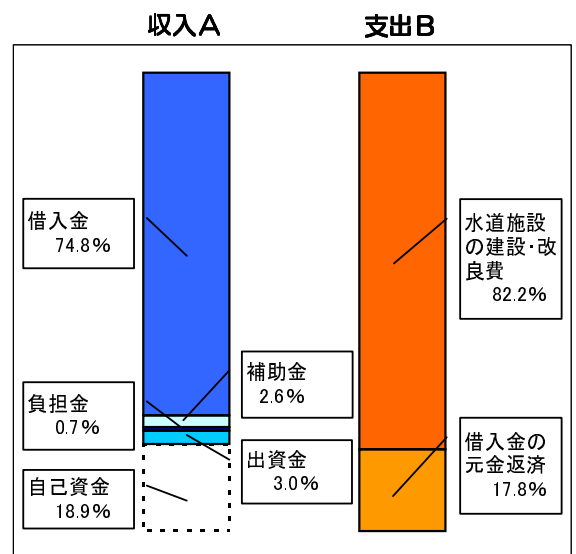
2. 資本的収支（税込）

（1）資本的収入（税込）

区分	決算額
借入金【企業債】	27億2,050万円
補助金【他会計補助金、国庫支出金】	9,529万円
負担金【工事負担金、他会計負担金】	2,720万円
出資金【他会計出資金】	1億 730万円
自己資金（内部留保資金※）	6億8,741万円
合計	36億3,770万円 A

（2）資本的支出（税込）

区分	決算額
水道施設の建設・改良費 【建設改良費、開発費】	29億9,082万円
借入金の元金返済 【企業債償還金】	6億4,688万円
合計	36億3,770万円 B



※1 資本的収入のうち、平成26年度の財源として収入した額（企業債6,830万円、負担金3,600万円）は含めていません。

※2 自己資金（内部留保資金）とは、現金を伴わない支出（減価償却費等）相当額や当年度以前の利益等です。

収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【 】内は、決算書の科目名を表しています。